

つちおと

平成25年度 スタート！

今年は、これまで被災自治体が大変な苦労を重ねて準備を進めてきた様々な復興事業や災害復旧事業が本格化。これまでは、被災物の運搬が主だったダンプトラックも地盤嵩上げ用の土を運ぶようになり、それを敷均すブルドーザーなどの重機が忙しく動き回る姿を見せてくれることでしょう。

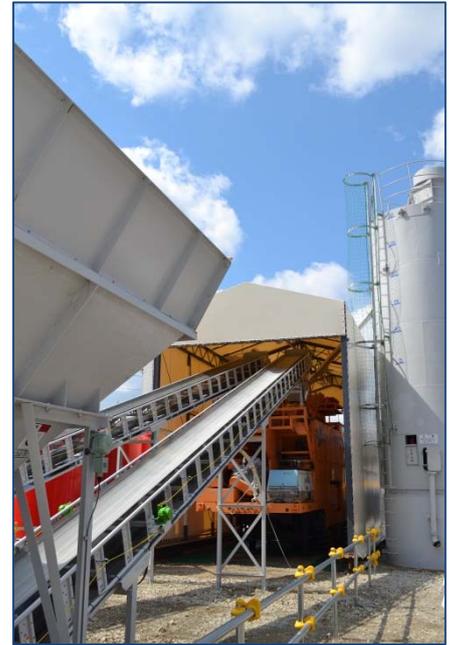
4月12日、復興事業に欠かせないコンクリートの安定供給のため、気仙沼地区生コンクリート協同組合が大島に生コン工場(プラント)を整備しました。生コンの原料となる骨材が不足し、県外からの調達という課題は残っているものの、島内での生コン需要、そして大島架橋工事への供給に精一杯応えてくれることでしょう。これもまた確実に一歩、準備が整ったことの証といえます。



安全を祈願した神事



品質管理に欠かせないコンクリート試験室



プラント全景

◆4月を迎え、新しいランドセルに隠れてしまいそうな小学1年生、ちょっと大きめの制服に身を包んだ中学・高校生、リクルートスーツが窮屈そうな新入社員、そんなピカピカな人たちが街を行き交う光景を目にします。

また、春の代名詞ともいえる桜は、今年もしっかりと薄紅色の花を咲かせ、復興道半ばの被災地のあちこちにくっきりと浮かび上がっています。

◆震災により展示の縮小などを強いられてきた「リアス・アーク美術館」が、震災から2年の復旧工事等を経て4月3日に全面再開となりました。再開にあたって、震災の記録を多くの方々に伝えようと学芸員の方が撮影した被災地の写真や被災物、過去の震災記録等の展示が行われています。



◆気仙沼大川の桜並木、堤防のかさ上げ工事が近づいていることから、今年度末にも撤去される予定のようです。

長い間、市民に春の到来を告げてきた百本あまりの桜は、これまでの思い出を「7本」に託す(移植する)一方、ほかの木々は、ベンチなどに形を変えて再生させるとのこと。28日(日曜日)には、現地で「未来への集い」と題したイベントが開催されますので、「大川桜最後の勇姿」を是非ご覧ください。(山)

3月16日～3月20日 災害公営住宅展示会（気仙沼市）

気仙沼市では、市民や有識者等の意見を踏まえ、災害公営住宅の整備に当たっての課題や問題点を整理し、安心して住み続けられる災害公営住宅を計画することを目的とした「気仙沼市災害公営住宅整備検討会」が、平成25年1月から3月まで行われました。

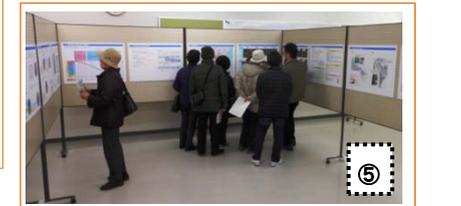
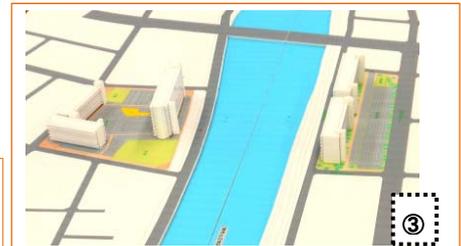
3月16日から20日には、この検討会で議論された内容についてのパネルや模型の展示や各種相談を受け付ける災害公営住宅展示会が行われ、約1,500人が来場されました。

展示会には、初日の午前中から多くの方が来場され、パネルや模型を御覧になりながら、市の担当職員からの説明を受け、質問をなさっていました。

気仙沼市では、市街地で集合住宅タイプを7地区（うち1地区は位置を検討中。）で1,295戸、郊外部で戸建て・長屋住宅タイプを12地区で705戸をそれぞれ整備する予定です。

*写真は、

- ①南気仙沼地区（幸町）
 - ②牧沢地区
 - ③南郷地区（左）と
南気仙沼地区（内の脇）（右）
 - ④間取り
 - ⑤パネル展示場
- の様子。



3月18日 南三陸まなびの里 いりやど 竣工式

災害の現場と豊かな自然環境を通し、若い世代がこれからの時代を生きるための力を見つけるきっかけを作ることを目的とした宿泊研修施設「南三陸まなびの里 いりやど」（南三陸町入谷地区）の竣工式が行われました。

施設は、研修室（洋室・和室）や食堂等を備えた研修棟と宿泊収容人数が57名の宿泊棟から成ります。ここで行われる研修プログラムの例としては、各種ボランティア活動等を行う「現地視察・支援活動」、震災後も様々な形で活躍している方々の現場を訪問する「元気人訪問」、農林漁業者の仕事や暮らしを体験する「里山・里海のくらし体験」、様々な体験を経て感じたことや課題等について仲間と語り合う「ワークショップ」などがあります。

また、「いりやど」は、このように三陸沿岸をフィールドとした宿泊・研修の拠点としての役割を担っているほか、会議、会食等も行うことができ、一般宿泊も可能です。



*写真は、施設の外観。手前が宿泊棟。奥が研修棟（竣工式資料から引用。）

4月 南三陸町災害公営住宅整備事業の造成工事の様子（入谷地区及び名足地区）

「つちおと」第9号で着工式の様子をお知らせした南三陸町災害公営住宅整備事業について、入谷地区と名足地区については、2月の着手以降、工事が順次進められています。今回は、これらの地区の現場の様子をお知らせします。また、今後も、工事の様子をお知らせしてまいります。



*写真は、左が入谷地区、右が名足地区。

復興関連事業の現場

復興関連事業の現場を
写真とともに御紹介します。

今回は、3月29日に復興庁から発表された「平成24年度に完成した災害公営住宅の入居開始について」を御紹介します。

被災された方々の1日も早い住宅再建が望まれているところ、平成24年度に完成した災害公営住宅について、3月30日と4月1日で、青森県、岩手県、宮城県、福島県の4県9地区で161戸が入居開始となりました。なお、宮城県では、仙台市（12戸）、石巻市（20戸）及び山元町（18戸）です。

今後とも、前のページで御紹介した「住まいの復興工程表」等によって住宅再建の目安となる時期を示しながら、自治体による住宅・宅地の供給が加速するよう、復興庁としても、引き続き、関係機関との調整等に力を注いでまいります。

*復興庁調べ（3月28日時点）

*写真は、左が仙台市、右が石巻市の災害公営住宅。



ナンプレにチャレンジ！！

		1	4		2	5	
		4	6	7			3
		3	9				4
	4	3					
					4	1	7
	6	2			5	3	8
4			7		3		8
	1		9	4			
		5					

ルール

・9マスごとの縦の列と横の列にそれぞれ1から9の数字が1つつ入ります。

・太枠で囲まれた9マス（縦3マス、横3マス）にそれぞれ1から9の数字が1つつ入ります。

【編集後記】

◆新年度になり、春の訪れを告げる様々なニュースにふれる機会が多くなりました。気仙沼の気候を熟知するには日が浅いものの、昨年のような、冬物コートのクリーニングを8月にするには避けようと思いつつ、季節の移り変わりにアンテナを張って生活しています。

（前号のナンプレの回答）

6	3	2	8	9	7	4	1	5
9	4	1	2	5	6	7	3	8
5	8	7	1	3	4	6	9	2
4	6	8	3	2	9	5	7	1
1	7	9	5	6	8	2	4	3
3	2	5	7	4	1	8	6	9
2	5	4	9	7	3	1	8	6
7	1	3	6	8	5	9	2	4
8	9	6	4	1	2	3	5	7

春本番！



気仙沼大川の桜並木。今年が最後の見納めになりそう。開花が少し遅めなのですが、間もなく見事に咲いてくれることでしょう

「つちおと」がホームページから御覧いただけるようになりました！

URLは、

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/001177.html>

または、①復興庁ホームページ→②宮城復興局→③気仙沼支所だより「つちおと」にお進みください。

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>